



ThirdEye Suite



ネットワーク環境は、速いスピードで進化し仮想化、クラウド化、高速化、Zero-Trust等の複雑化が絶え間なく進んでいます。こうした中、このトレンドをよりの確にとらえた新製品ThirdEye Suite (概要: ThirdEye + Net LineDancer) を見て頂きたいと思います。今までのThirdEyeやNet LineDancer両製品をバラバラで検討購入が必要なく、一体型オールインワンアプローチを果たしました！柔軟な監視だけでなく、運用の自動化や設定作業の大幅軽減まで同時に視野に入れた最上位エディションを是非お試しください。

Monitoring

監視



Ping 監視 Trap 監視 性能・閾値監視
Syslog 監視 サーバ監視

Management

管理



インベントリ管理 コンフィグ管理
EOS / EOL 管理 アクセス履歴管理
CLI 証跡管理 マップ画面構成管理

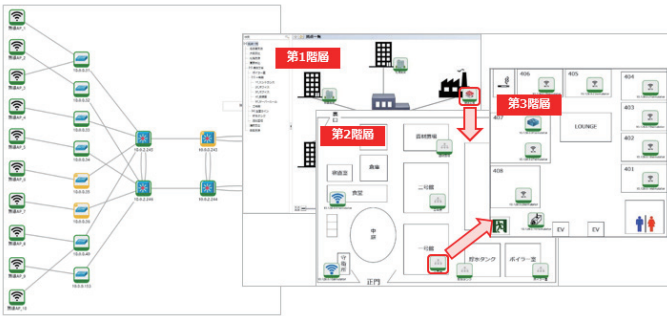
Automation

自動化



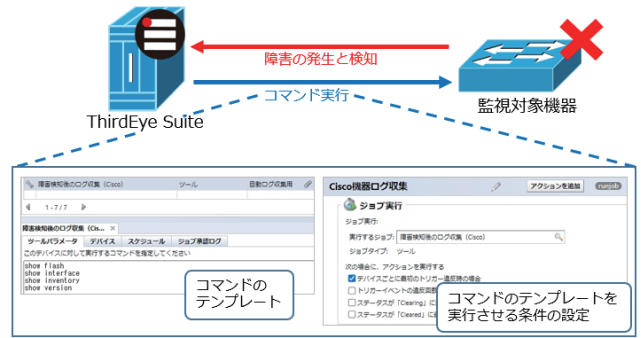
設定変更自動化
障害検知時コマンド自動実行
コンフィグポリシー違反自動検知

マップ画面構成管理



Excel や Visio に近い操作感での自由度の高いマップ作成と、L2 情報を収集して論理構成を再現する自動マップ作成の両方に対応しています。
 また障害発生箇所は監視対象機器のアイコンだけでなくインタフェース（リンク線）の単位でマップで表現できる為、障害の被疑箇所の把握が非常に容易です。

障害検知時コマンド自動実行



監視対象機器の障害を検知したとき、ThirdEye Suite がすかさず任意コマンドを実行できます。これによりログ収集の自動化とリアルタイム性向上が期待できます。
 また設定変更系のコマンドも実行できるので、障害発生後の処置にも活用できます。

CLI 証跡管理

TeraTerm からのコマンド処理を行う際、ThirdEye Suite が中継サーバの役割を果たすことによって、「いつ、誰が、どの機器に、どんなコマンドを実行したのか？」が作業履歴として自動管理できます。
 ThirdEye Suite のマップ画面から作業に取り掛かることもでき、監視対象機器へのログイン、認証プロセスもショートカットできる為、迅速且つ容易にコマンド作業に入ることができます。

コンフィグポリシー違反自動検知

収集した複数の監視対象機器コンフィグの中身に対し文字列ベースでチェックをかけて、運用ルールにそぐわない設定が含まれていないかどうかを判定します。
 コンフィグ自体の整合性を1台ずつ人が目視して確認する必要がなくなります。

※カタログ表面に記載の各機能イメージについてはカタログ、もしくは弊社ホームページ (<https://www.lvi.co.jp/ThirdEye/>) をご確認ください。

【対応プラットフォーム】

- VMware ESXi • Windows Hyper-V
- Amazon Web Services (一部機能制限あり)
- Nutanix AHV • Linux KVM • Microsoft Azure
- ※Linuxベースの仮想アプライアンス製品です。
- ※物理サーバ、仮想マシンも含めたご提供も可能です。

【推奨スペック】

- CPU: 8Core • メモリ: 12GB • SSD: 1TB (SSD推奨)
- ※監視対象数、監視項目数により推奨値は変動します。

お問い合わせは下記まで

LogicVein 株式会社ロジックベイン
 〒216-0004 神奈川県川崎市宮前区鷺沼3-2-6 鷺沼センタービル3F
 Tel: 044-852-4200 Fax: 044-854-0979 E-mail: sales@lvi.co.jp

<https://www.lvi.co.jp>

